



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日
東

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保井 恒之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,694	1.1	894	△18.7	957	△17.5	658	△19.6
2022年3月期第3四半期	12,554	22.7	1,100	—	1,160	—	819	244.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 886百万円(4.8%) 2022年3月期第3四半期 846百万円(372.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	33.21	—
2022年3月期第3四半期	41.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,227	19,778	78.4
2022年3月期	25,380	19,303	76.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,778百万円 2022年3月期 19,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,360	2.9	1,140	2.3	1,210	0.6	820	3.7	41.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	20,000,000株	2022年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	164,998株	2022年3月期	199,105株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	19,819,870株	2022年3月期3Q	19,800,926株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、経済活動との両立が進展したことにより持ち直しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国経済の不振、欧米各国の利上げによって、資源価格の高騰や為替相場の変動リスクの影響を受けるなど、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

こうした状況の中、当社グループは中期経営計画（2022年3月期から2024年3月期）の2年目となる2022年度（2023年3月期）について、「革新」を年度方針に掲げ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、成長戦略である1. 生産性向上・業務効率化、2. 次世代自動車への対応・拡販、3. 新成長エンジンの創出、4. 海外事業の強化の諸施策に取り組んでおります。

生産性向上・業務効率化として昨年度実施したモデル工場における生産効率改善活動の国内生産拠点への展開、次世代自動車への対応・拡販の一環としてモーターコア金型向け新素材の開発や、電池関連製品専用生産ラインの設置といった諸施策を積極的に推し進めてまいりました。

超硬製工具類では、一部の半導体関連需要が続いたことにより、関連工具の販売が堅調に推移しました。また、熱間圧延ロールの販売が市況の変化等により低調となった結果、売上高は3,335百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

超硬製金型類では、自動車の電動化に関連する需要が続いたことにより、車載電池用金型の販売が好調に推移しました。また、光学素子成型用金型や製缶金型の販売も堅調に推移した結果、売上高は3,072百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

その他の超硬製品では、一部の半導体関連需要が続いたことにより、関連する金型の販売が堅調に推移しました。また、海外向け超硬素材の販売が中国でのゼロコロナ政策による行動制限の影響が続き低調となったものの、売上高は3,208百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

超硬以外の製品では、次世代自動車に関連する自動車部品用鋼製金型やセラミックス工具の販売が堅調に推移したものの、引抜鋼管の売上が低調に推移した結果、売上高は3,077百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,694百万円（前年同期比1.1%増）となりました。利益につきましては、営業利益は894百万円（前年同期比18.7%減）、経常利益は957百万円（前年同期比17.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は658百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、25,227百万円（前連結会計年度末25,380百万円）となり、153百万円減少いたしました。流動資産は14,833百万円（前連結会計年度末15,331百万円）となり、498百万円減少いたしました。これは主に、棚卸資産が625百万円増加、現金及び預金が1,311百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は10,394百万円（前連結会計年度末10,048百万円）となり、345百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定が610百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、5,448百万円（前連結会計年度末6,076百万円）となり、627百万円減少いたしました。流動負債は3,745百万円（前連結会計年度末4,383百万円）となり、638百万円減少いたしました。これは主に、未払費用が448百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,703百万円（前連結会計年度末1,692百万円）となり、10百万円増加いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、19,778百万円（前連結会計年度末19,303百万円）となり、474百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が658百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が435百万円減少、為替換算調整勘定が241百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月16日付の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,797	5,486
受取手形及び売掛金	3,099	3,088
電子記録債権	1,293	1,459
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	188	352
仕掛品	1,554	1,844
原材料及び貯蔵品	1,243	1,414
その他	157	189
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	15,331	14,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,791	3,657
機械装置及び運搬具（純額）	2,300	2,105
工具、器具及び備品（純額）	196	221
土地	2,692	2,786
建設仮勘定	14	624
有形固定資産合計	8,995	9,395
無形固定資産		
その他	108	89
無形固定資産合計	108	89
投資その他の資産		
投資有価証券	276	249
長期貸付金	11	10
繰延税金資産	608	602
その他	47	47
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	944	909
固定資産合計	10,048	10,394
資産合計	25,380	25,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,171	2,230
短期借入金	31	36
リース債務	14	10
未払金	686	520
未払費用	691	242
未払法人税等	281	82
賞与引当金	353	374
役員賞与引当金	75	-
その他	78	248
流動負債合計	4,383	3,745
固定負債		
リース債務	22	21
繰延税金負債	0	0
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,666	1,677
その他	1	1
固定負債合計	1,692	1,703
負債合計	6,076	5,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	164	164
資本剰余金	-	1
利益剰余金	18,964	19,187
自己株式	△129	△107
株主資本合計	18,999	19,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	82
為替換算調整勘定	201	442
退職給付に係る調整累計額	0	7
その他の包括利益累計額合計	304	532
純資産合計	19,303	19,778
負債純資産合計	25,380	25,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	12,554	12,694
売上原価	9,177	9,391
売上総利益	3,377	3,302
販売費及び一般管理費	2,276	2,407
営業利益	1,100	894
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	6	9
受取賃貸料	18	19
為替差益	20	18
補助金収入	2	7
その他	9	5
営業外収益合計	63	67
営業外費用		
支払利息	3	2
寄付金	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	4	5
経常利益	1,160	957
特別利益		
固定資産売却益	1	6
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	3	20
減損損失	0	1
その他	0	-
特別損失合計	4	23
税金等調整前四半期純利益	1,157	940
法人税等	338	282
四半期純利益	819	658
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	819	658

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	819	658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△19
為替換算調整勘定	13	241
退職給付に係る調整額	10	6
その他の包括利益合計	27	228
四半期包括利益	846	886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846	886
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月15日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月1日に譲渡制限付株式報酬としての自己株式34,107株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が22百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は107百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。